
教育総合センター

だより

NO. 111

平成 21. 3. 1

「心にのこる言葉」

学校教育課 総括担当
指導主事 福原 正隆



「5年と1カ月」定年までの月日が気になるようになってきました。

昭和51年5月、前任（新採用）の方が1ヶ月でお辞めになり、その後任として勤務しました。周りの先生方は、最初の人もすぐに退職し、次の人も頼りなげで、また辞めてしまうのではないかと心配されていたようです。本人はそんなこととはつゆ知らず、毎日、教科指導に、学級指導に、2年目からは経験のない種目でしたが、部活動の指導にと楽しく過ごしていました。

その後、生徒指導に明け暮れ、その対応に遅くまで会議を重ねることが続きました。「昨日、父親になりました。」と職場で話したのが、保護者を交え、今後の対応策を協議し、話し合いが深夜まで及んだ時でした。精一杯、教材研究をして授業に臨んでいたつもりですが、学習に対して後ろ向きになっている生徒には通用せず、きちんと授業を受けているにもかかわらず、全くできていない生徒の答案を前に落ち込むこともありました。

「このまま教師としてやって行けるのだろうか。」という不安や「教師は一生の仕事となりうるのだろうか。」という迷いで悩むこともありました。

今、その頃を振り返ってみて、途中で辞めることもなく、今までやってこれたのは、上

司や先輩の支えや書籍の中の一言であったように思います。

上司にはいろいろと相談に乗っていただいたり、家庭訪問についてきていただきました。先輩からは授業について多くのことを学ばせていただきました。先輩の普段の言動からも学ぶことが数多くありました。

「あなたが辞めて学校が良くなるなら、お辞めになったら。」これは、先輩が学校を辞めようと奥さんに相談したときの奥さんの言葉。「現状維持は後退である。周りは変化（進歩）している。」といった先輩の話は、特に印象深く覚えています。

また、生徒が憎たらしく感じた時は、「お説教では人の子は育たぬ。」とか「ホッカリと祈りをこめた眼で。」という言葉に、仕事に疲れた時は、「太陽は夜が明けるのを待つて昇るのではない。太陽が昇るから、夜が明けるのだ。」という言葉に、仕事が虚しく感じた時は、「教育とは流水に文字を書くような果^{わざ}かない業である。だがそれを岸壁に刻むような真剣さで取り組まねばならぬ。」という言葉に救われてきたように思います。

周りの人に少しでもお役に立っているのかと自問しながら、「おはようございます。3月2日、月曜日です。今日もよろしく願います。」の言葉で、仕事を始めています。

☆☆近畿地区教育研究(修)所連盟研究発表大会に参加して☆☆

1 学問の秋に

平成20年11月12日(水)、兵庫県立教育研修所において、「平成20年度近畿地区教育研究(修)所連盟研究発表大会」が開催されました。秋晴れで気温もほど良く、緑が多い加東市の教育研修所は、まさに学問の秋といった風情でした。

遠くは滋賀県、和歌山県から総勢120人の参加のもと、開会の挨拶が行われた後、大阪樟蔭女子大学の森田洋司学長が「いじめ問題への対応と新しい教育課題」というテーマで講演されました。

2 かぎはシティズンシップ

「いじめ集団の4層構造理論」で有名な森田先生の今回の御講話は、実に興味深いものでありました。

いじめの基本的な考え方から話は始まり、日本のいじめの特徴や国際的な視点等についてへと繋がっていきます。私が特に関心を持ちましたのは、きちんとした数値をもった比較でした。いじめ被害経験率について日本はヨーロッパの4カ国と比較して低い値だが、年齢が上がるにつれていじめの傍観者が増加し、仲裁者が減少していくというものでした。反対にヨーロッパの4カ国は年齢が上がるにつれて、傍観者が減少し、仲裁者が増加していくという対照的な傾向でした。年齢が上がるにつれていじめがどうなるか明らかです。いじめを集団の視点でとらえ、そして学校の安全としてとらえ、傍観者を減らし、社会を担っていく人を育てることが重要だということです。要するに重要な視点の一つがシティズンシップ(市民性)だということです。

ぜひ、森田先生には本市が実施する

研修等で講師として来ていただき、くわしいお話を聞かせて頂きたいと思います。

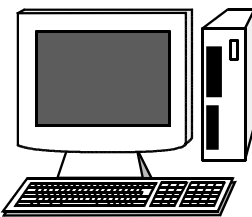
3 尼崎市の実践(研究発表会にて)

午後から、6会場に分かれ、各会場で3グループずつの発表が行われました。第6会場での最終発表で、平成12年度から教育総合センター研究員である松本明美教諭(立花小学校)が発表をしました。内容は「デジタルコンテンツを活用した効果的な指導方法の研究」でした。

デジタルコンテンツの研究は、平成14年度から研究部会として教育総合センターで取り組んできています。その中で平成19年度に取り組まれた研究「黒板投影型デジタルコンテンツ」「地上デジタル放送」を中心とした発表でした。

簡潔明瞭なプレゼンテーションとともに、参加者からの質疑応答にも明解に応じ、実に堂々たる発表内容でした。

デジタルコンテンツは実に奥が深く、今年度も様々な教科等での活用について研究を行いました。社会科での思考を助ける資料としてのコンテンツ、体育科でのビデオの追いかけ機能を使ったもの、算数での自作のアニメーションコンテンツ、すぐに役立つ「デジタル掛け図」など、知っておけばすぐに授業に使えるコンテンツもあります。詳細については『教育総合センター研究報告書』紀要46号をご覧ください。デジタルコンテンツ以外にもきっと興味をひく研究報告に出会えることでしょう。

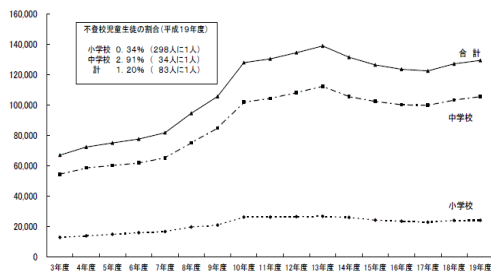


(研修担当指導主事 小原 誠)

☆☆ 教育相談からみた子どもたち ☆☆

1 不登校児童生徒数が増加

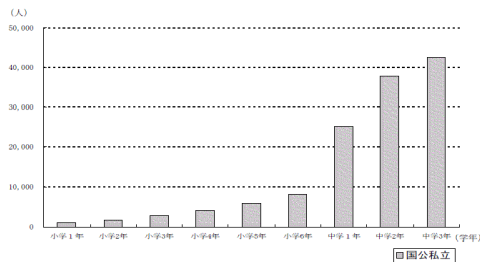
平成19年度に「不登校」を理由として30日以上欠席した児童生徒数は、129,255人（前年度比1.9%増）に上り、2年連続で増加した。小学校で298人に1人、中学校では過去最高の34人に1人の割合となり、依然として、深刻な事態である。



不登校児童生徒数の推移（平成19年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査より）

2 中1ギャップと思春期

不登校児童生徒数は、学年が上がると共に増加する傾向にある。小学6年から中学1年（約3倍）と中学1年から中学2年（約1.5倍）の段階で急増し、中学3年では28人に1人の割合に高まっている。



学年別児童生徒数のグラフ（同上）

これらの時期は、小学校から中学校への「環境移行」と子どもから大人への「思春期」とが重なり、子どもたちにとっては重大な「心の危機」期と考えられる。

小・中連携はもとより、新入生について、学年教員の情報共有と個別の声かけ、連続欠席3日目の家庭訪問など、“チームで支援”が不登校未然防止の鍵となっている。

(1) 不登校における「よい子」の問題

不登校の相談では、この子たちが幼い頃に、大人しく手がかからない「よい子」であったと語られることが多い。幼い子どもは親の思い通りにならず、手がかかるものであるが、この時期に「よい子」であったことは、周囲に気を使いストレスを抱えやすい状況にあったとも考えられる。

(2) ストレスとつき合う力を育てる

子どもたちは、「ダルい」「ムカツく」「キレる」という言葉をよく使う。これらは、彼らのストレス状況からの叫びとも捉えられる。また、子どもがストレスを感じた時には、頭痛や腹痛、発熱などの身体症状、不安、無気力、怒りなどのストレス反応がみられ、不登校やいじめなどの問題行動へ発展することもある。

最近の研究では、ストレスを感じた時に、その原因にはたらきかけるか、気分転換をする、或は誰かに支えられていると思えると、ストレス反応は軽減するといわれる。

近年、人とつき合う力（社会性）やふんばる力（耐性）を育てる教育の必要性が高まっている。

3 子ども・家庭・学校をつなぐ教育相談

家庭や地域の教育力の低下、規範意識や価値観の変化など、学校を支える外枠が大きく揺らいでいる社会状況がある。

教育相談には、迅速で的確な問題への対応や学校支援とともに、子育てに悩む保護者を支え、子どもたちの発達・心の成長を支え見守る役割も求められている。

教育相談課は、悩む心や生き難さをかかえた子ども、保護者、日々の実践に苦闘する教員の心の居場所、安全基地としても在りたい。

（教育相談担当係長 西本由美）

【 教育情報コーナー 資料紹介 】

平成21年4月から、いよいよ新学習指導要領「移行措置」期間がスタートします。先行実施の中で、やはり注目と不安は「小学校外国語活動」ではないでしょうか。

情報コーナーの蔵書から、関連の本・雑誌を御紹介します。CD付の本もありますので、ぜひご利用ください。

-
- ※ 小学校における英語活動導入の背景と理論もきちんと整理しておきましょう
- ・ 小学校学習指導要領解説—外国語活動編 (東洋館出版・文部科学省編著)
 - ・ 小学校学習指導要領の解説と展開—外国語活動編 (教育出版・大城 賢他編著)
 - ・ 児童英語教育を学ぶ人のために (世界思想社・中山兼芳編著)
 - ・ 初等教育資料 2008年8月号—学習指導要領の改訂③
 - ・ 教職研修 2009年1月号—小・中学校“英語”にどう取り組むか
-
- ※ スクールリーダーは全面実施までの間に知っておくべき知識をまとめましょう。
- ・ 21年度から取り組む小学校英語 (教育開発研究所・吉田研作編著)
 - ・ 小学校英語指導の基礎・基本 (教育開発研究所・渡邊寛治編著)
 - ・ 小学校英語セミナー～新英語の実施・取り組み課題は何か (明治図書・影浦功編)
-
- ※ いちばん気になる授業プランには、この本を。
- ・ すぐに役立つ！小学校英語活動ガイドブック (ぎょうせい・管 正隆編著)
 - ・ 小学校英語指導プラン完全ガイド～授業の組み立てがわかる！ (アルク・吉田研作編著)
 - ・ 小学校英語教育の進め方～「ことばの教育」として (成美堂・金森 強他編著)
 - ・ きょうから私も英語の先生！～小学校英語指導ガイドブック (玉川大学出版部・松香洋子他編著)
 - ・ 小学校英語活動365日の授業細案 (明治図書・熊本大学附属小学校編著)
-
- ※ 実際に子どもたちとすぐに楽しめる活動事例集があります。
- ・ 子どもが楽しむ英語活動・アクティビティ・歌・授業プラン
 - ・ 子どもが楽しむ英語活動2・アクティビティ・チャンツとABCの歌・授業プラン (日本標準・吉澤寿一編著)
 - ・ 歌とゲームで英会話 (国土社・稲垣明子他編著)
-
- ※ 美しい絵、やさしい英語。読み聞かせにどうぞ。
- 『Japan Folk Tales 英語で読む 日本むかし話』 全5冊 (あすなろ書房)
- * Urashima Taro and the Palace of The Dragon (浦島太郎)
 - * The Snow Woman (雪女)
 - * The Story of The White Crane (鶴女房)
 - * My Snail, My Snail, My Husband (たにし長者)
 - * The Marriage of the Young Mouse Girl (ねずみの嫁入り)
-

開館時間ご案内

平日 午前9時 ～ 午後9時

《ただし、教育相談および視聴覚ライブラリーは午後5時15分とします》

なお、次の日は取り扱いいたしません。【土曜日・日曜日・祝日・年末年始】

発行 尼崎市立教育総合センター

尼崎市三反田町1丁目1番1号 (Tel.06-6423-3400)

発行者 平垣 新一

題字 尼崎市教育委員 岡本 元興